

## 平成29年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	
	全体計画	平成28年度	～	平成32年度	経費区分	経常的経費	内線
土屋	3312						
事務事業名	4067 地域福祉推進事業						
所 属	100100 健康福祉部・福祉課						
施 策	01020300 みんなで助け合う福祉						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費					
	事業	030000 地域福祉推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
住み慣れた地域で行政と住民が一体となって支え合う総合的な地域福祉に取り組むことにより、市民福祉の向上を図る。				社会の変化に対応しつつ、地域一人ひとりの暮らしを支え、地域福祉の推進を図っていくために、地域福祉を推進する民生児童委員との協力関係を維持し、活動を支援するとともに、地域福祉の中心となる社会福祉協議会の活動を支援することで、地域住民が主体となってみんなで支え合うまちづくりの実現を図る。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生児童委員106人 主任児童委員13人</li> <li>民生児童委員 年間活動件数 21,000件</li> <li>・ 社会福祉協議会活動事業補助金 40,041,000円</li> <li>・ 助け合い推進事業委託料 4,300,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生児童委員106人 主任児童委員13人</li> <li>民生児童委員 年間活動件数 22,000件</li> <li>・ 社会福祉協議会活動事業補助金 39,907,928円</li> <li>・ 助け合い推進事業委託料 4,300,000円</li> </ul>
平成29年度 予定	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生児童委員106人 主任児童委員13人</li> <li>民生児童委員 年間活動件数 22,000件</li> <li>・ 社会福祉協議会活動事業補助金 45,296,000円</li> <li>・ 助け合い推進事業委託料 4,300,000円</li> </ul>	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	福祉ボランティア活動に参加している人の数				
算式					単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-	1,700	1,800
	実績	1,731			
指標選定の理由	地域福祉の推進には、住民による福祉ボランティア活動への参加が必要となる				
最終年度目標の根拠	現状値から毎年100人ずつの増加を目指す				
指標名	新・地域見守り安心ネットワークに登録をお願いした方の登録の割合				
算式					単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-	80	100
	実績	60			
指標選定の理由	新・地域見守り安心ネットワークへの理解の促進を図り、避難行動要支援者名簿への要配慮者全員の名簿登録が今後の災害対策等に必要となる				
最終年度目標の根拠	登録をお願いした方全員の登録を目指す				
指標名	民生児童委員の年間延べ訪問回数				
算式					単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標			30,800	31,200
	実績	30,661			
指標選定の理由	複雑化し、増加する住民の福祉ニーズに対応するため、民生児童委員の訪問の重要性が増している				
最終年度目標の根拠	月平均で2,600件程度を目標とする				

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		82,512	88,348
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	7,853	7,853
	地方債	0	0
	その他	1,476	1,477
一般財源		73,183	79,018
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,609.5	3,609.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,609.5	3,609.5
市民一人当たりの経費		1.6	1.8
総額		86,121.5	91,957.5

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	23	消耗品
13節 委託費	5,148	助け合い推進事業委託料 4,300千円 災害ボランティア派遣事業 848千円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	65,587	社会福祉協議会活動事業補助金 39,908千円 民生委員協議会活動費負担金 2,083千円他
その他	11,754	福祉委員報酬 8,685千円 要援護者台帳管理システム 1,204千円ほか

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	30	消耗品
13節 委託費	5,140	助け合い推進事業委託料 4,300千円 災害ボランティア派遣事業委託料 1,200千円 ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	70,509	民生委員協議会活動費負担金 2,083千円 社会福祉協議会活動事業補助金 43,854千円 ほか
その他	12,669	・福祉委員報酬（社会福祉の増進のため、市長が委嘱） ・要援護者台帳管理システムの賃貸借 など

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	多様化する福祉課題解決のための必要性は高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	日々の暮らしを安心して過ごすためには有効な施策である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	事業の性質上、受益者負担を求めることはできない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域住民が主体となって、みんなで支え合う福祉のまちづくりを進めるためには、社会福祉協議会等と十分に連携して、地域住民のニーズの把握に努めなければならない。先行き不安な時代であるからこそ、地域福祉の推進はますます重要性を増している。民生委員、ボランティア、社会福祉協議会など関係機関の連携をいかに進めるか再度検討することが必要となっている。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
地域社会での助け合いという福祉の根本を担う民生児童委員、ボランティア、社会福祉協議会など関係機関、者との連携を深めるための必須事業である。		高齢者が増加する中で、市と社会福祉協議会等が連携し、住民が互いに支えあう地域づくりを進めることが、地域福祉の構築となる。	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	